

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10-(6)	月1回の面会時に日頃の状況報告しながら意見や要望を伺うようになっている。意見や要望があった時は会議で職員間の情報共有をしている。	月1回の面会等に来訪できない御家族には、電話連絡及び近況報告等を行い、グループホームでの生活状況を把握して頂く。	行事を実施するに当たって、御家族参加型の企画を立てる。参加できない御家族は、必ず月1回の連絡をいれ、状況報告を行う。	12ヶ月
2	4-(3)	月2回開催し入居者家族代表、民生委員、町職員に参加してもらいホームの運営状況を報告し、助言をもらっている。会議の内容は職員に伝達されている。	運営推進会議に参加されている、出席者が固定されているため、家族代表の方だけではなく、他の利用者家族に呼びかけGHの生活状況をより深く理解して頂くことを目標とする。	運営推進会議の開催月には、前もってご家族に文書でご案内を行い参加者を募る。	12ヶ月
3	26-(10)	個別支援を重視しているが計画内容が一様化している。	個別希望重視で、計画内容を作成し月1回の職員会議で見直し検討を行い、生きがいのある計画書を作成する。	日々の申し送りノートや、利用者との会話の中からヒントとなる訴えを聞き入れ、計画書に取り入れる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。